



## ～進路講演会を開催しました！～

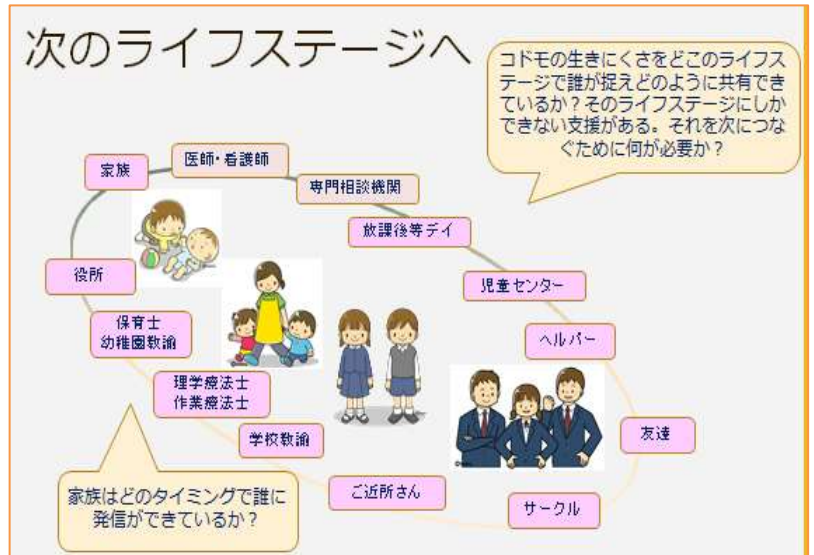
12月8日(金)、PTAとの共催で進路に関する講演会を開催しました。

「卒業後の社会生活について考える～子どもと家族が地域で安心して暮らしていくために～」というテーマで、社会福祉法人なのはな会生活介護事業所こまくさ苑の施設長、遠山裕湖様に講話をいただきました。

平日の午前中開催にもかかわらず、地域の小中学校から多数来校していただき、本校保護者を含め200名近くの参加者となり、今回のテーマへの関心の高さを実感しました。子どもの年齢など対象が様々でしたが、どの参加者にも関わる話題を広く盛り込んだ講演内容でした。

参加者からたくさんの感想をお寄せいただいたので、一部御紹介します。

### 次のライフステージへ



#### <本校保護者>

- 我が子がちょうどイベントがある時期にこの講演を聞くことができ、大変参考になった。(複数)
- 子どもの障害も年齢が上がってくると接し方に悩むことがあり、学校以外にどこへ頼ったらよいのか分からないことも多いです。お話が聞けてとてもよかったです。
- これから子どもが大人になるまでに、沢山の人と関わって、安心できる環境を作ってあげたいと思いました。子どもの心を大切に、笑顔で過ごせるように一緒に日々を過ごそうと思います。
- 将来のことを考えるのも大事ですが、今！この時の生活も大事にしなきゃと反省しました。
- 親目線で子どもの人生を決めてしまうことが多いですが、子どもにも考えがあり、本人の人生なので失敗してもよいのかも知れないと思いました。なんだか気持ちが楽になりました。
- 親亡き後の相続等のお金の話、グループホームについてももう少し聞きたかった。

#### <地域の小・中学校保護者>

- 遠山先生の説明のうまさ、ユーモアも交えた話、とても有意義な時間でした。今後の子どもとの関わり方の参考にさせていただきます。
- うちの子は自閉症です。これからどうしていったらよいのか不安な気持ちばかりです。このようなお話を聞いて少し不安な気持ちがなくなりました。
- 講演を聞いて、先々のいろいろなケースを想定して、ある程度の目安を考えていかなければと思いました。
- 子どもの将来に不安がありましたが、お話を聞いたことで少し見えてきました。進路の変わり目の時は、親がどんと構え子どもへ対応しようと思います。
- 分かりやすく、温かい気持ちになりました。暗い話が多い中、少し心強く思いました。
- たくさんのサポート体制、障がいのある本人の言葉など知れて、少し不安が和らぎました。
- 卒業後の社会生活と聞いてあまりイメージがわかなかったが、働くということ一つにしても、親がしていかななくてはならないことがたくさんあるんだとつくづく思いました。
- このような講演会を継続して行ってもらおうとありがたいです。また参加したいです。(複数)

誰もが感じている「将来への不安」が少し和らいだという感想が複数あり、意義のある講演会になったと思います。このような、地域を含めた皆様の声を大切にしながら、今後も情報提供に努めていきたいと考えています。